

公民館報

さかえ

第362号

令和7年1月1日発行

- 発行
栄村公民館
〒389-2703
長野県下水内郡栄村
大字堺9214-1
- 電話
0269-87-2100
- 編集
栄村公民館報編集委員会

スポット!

楽しい人生に趣味は欠かせない!
家のことに百姓仕事、地区行事もいろいろある。そんな日常の中で趣味を持ち、いきいき輝く方にスポット!
その楽しさ・魅力を発信します。



さかえ田植え唄愛好会

今年の栄村総合文化祭では、大トリをかざっていただき、素晴らしい舞を披露していただきました。

今回は、さかえ田植え唄愛好会のメンバーの鈴木英子さん(白鳥)と藤木とき子さん(極野)にお話を伺いました。

●活動の始まり

さかえ田植え唄愛好会は、今から約11年前に白鳥の敬老会をきっかけに始まりました。

今も元気に活動している、英子さんの、今度敬老会で踊りをしたいという思いから、白鳥の女衆を集めて練習をしたのがきっかけで結成されました。

民謡教室の師匠の月岡翁笙さん(白鳥出身)の指導のもと翌年の敬老会で披露し、その後も活動を拡大して、村内で会員を募集した

●活動について

らたくさん加入してくれました。踊る曲も、文化祭では、「温泉ゆったり栄村」と「皆衆」を披露しましたが、他にも、「さかえ田植え唄」や「お米ありがとう音頭」などたくさんあって曲ごとの踊りを忘れないように頑張って練習しています。

現在は7名で活動をしていて、2週間に1回トマトの国で練習を行っています。

発表の場としては、JR飯山線のおいこつとで踊りを披露したほか、津南町や木島平村などのイベントで踊ったりと、たくさん参加させていただきました。

また、昨年は小赤沢で行われた山開きや村内のデイサービスでも披露したりと充実した活動をしています。



圧巻! 真冬の栄村!!



トマトの国ロビー
たくさんの写真が並んでいます!

上の写真は、フォトくにさかえの高橋真太郎さん（青倉）からいただいた写真です。冬を象徴する素敵な写真ですね。現在7名が加入しているフォトくにさかえは、中条温泉トマトの国と飯山赤十字病院で写真の展示を行っています。トマトの国には、ロビーと食堂に写真が飾られていて、四季折々の栄村を見ることができ、美しい空間になっています! 素敵な写真がたくさんありますので、ぜひお立ち寄りください。会員も募集しています。興味がある方は高橋真太郎さんにお問い合わせください。

フォトくにさかえの活動



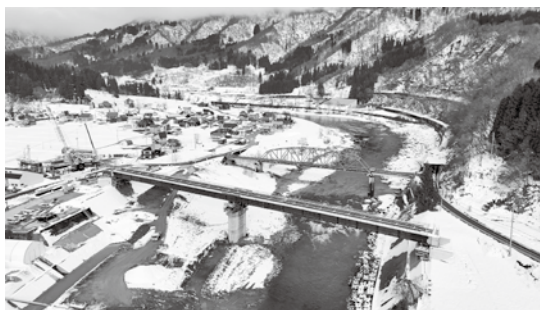
現在のライスセンター付近は「船場」という字で渡し場があった。



昭和36年に永久橋となった現在の「百合居橋」が完成。



昭和13年に箕作～横倉間に船橋が出来たが、洪水で流失。昭和16年につり橋が架けられたが、こちらも洪水でたびたび流失している。



工事が進む新しい百合居橋



今、百合居橋の架け替え工事が進められています。その昔、千曲川はどのようにして渡っていたのでしょうか。写真でみてみましょう。詳しくは「栄村誌」歴史編400、470ページ参照。

野田沢有志 飯山線の旅



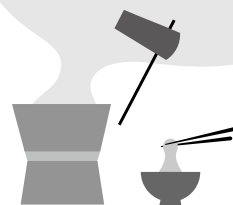
11月16日(土)に野田沢の有志が飯山線の旅を行いました。老いも若きも混えて8名の方々が長野までの旅を満喫してきました。横倉駅から和気あいあいと話が弾み長野まで時間を感じなかったそうです。長野に着くとちょうどお昼の時間なのでご飯を食べてから映画に行く方、買い物をする方など自由行動です。カラオケに行った方達が一番多く、最後は駅ビルのビアガーデンに集合して、夕方の列車で帰ってきました。

発案者が「自分の子供が大きくなるまで飯山線がしっかり走っていてほしい」と区長さんと話していたところ、区長さんが野田沢区の収穫祭で提案してくれて、たくさんの賛同者が集まりこの旅ができたそうです。

飯山線の利用者が減っていて、通勤通学の利用者も少ないと感じます。JRの路線別利用者数ワースト10に入ると報道もされていますので、飯山線の将来も不安です。

みなさんも飯山線に乗って楽しんでみませんか。

お餅とお正月



広報さかえ12月号の表紙の餅つきの様子が可愛かったですね。

正月といえばお餅がつきもの、なぜ正月にお餅なのでしょいか。諸説ありますが、お餅は神聖な稲から作られた縁起の良い食べ物で、その年の豊作や幸せを司る年神様の魂が宿ると考えられています。

正月にお餅を食することは、そこに宿った年神様の魂を頂戴し新年の魂を授けていただくという意味があるそうです。

編集委員S家では、ぜんざいを代掻きに、クルミ味噌をつけたお餅を畔塗に、きな粉餅を稲の豊作に見立てて食べる風習があります。ほかにもおもちでは、おち集落では、こんな食べ方するよというお声、よかったですお聞かせください。

余談ですが、館報編集委員の好



きなお餅の食べ方を尋ねてみました。Kさんはクルミ味噌、Nさんは油で焼いて砂糖醤油、Aさんはふきみそ、Mさんはあべかわ餅、Hさんは雑煮、Cさんはきな粉、Sはぜんざいとみんなバラバラ。それだけ食べ方が多彩でどれもみな美味しいということですね。皆さんはどんなお餅を召し上がりましたか？2025年も年神様の魂を頂戴し健やかで豊かな1年を過ごして参りましょう。

ねこつぐら作ってみませんか？

～ねこつぐら教室 ご自由にご参加ください～

栄村つぐら振興会が下記日程でねこつぐら教室を開催します。

日にち

1月19日(日)、2月16日(日)、3月16日(日)

時間

10時から12時まで

お時間のある方はそのあと13時～15時まで作っていただいて結構です。

場所

栄村公民館 こらっせ

申込み不要

問い合わせ先

栄村公民館 ☎87-3118



みんな来てね！

栄村つぐら振興会
マスコットキャラクター
(お名前募集中)

あーそんなことがあったんか
〜ど先生の栄村昔語り〜 其の六十六

大雪のこと



地域史料保全有志の会
鈴木 努 (通称：ど先生)
イラスト作成：佐藤洋平

新年となりました。二一世紀となつて今年で四半世紀、余りに多事多端ではありますが、今年は良い年であつて欲しいものです。

さて、昨年は秋が温暖に過ぎ、暮れに入つて急に冷え込み結構な雪が降りました。一昨年に比べても降雪量の多い冬となつています。村役場の公開情報によれば十二月半ば時点の累計降雪量が平成一七年の豪雪時に追いつきそうな様子です。

そこで今回は村定めの話題はお休みとし、江戸時代の大雪の記録を紹介しようと思います。

今回取り上げる古文書は、広瀬家文書にある「古今伝覚書 乾」という和綴の堅帳です。地方文書の堅帳

は紙縫で二穴または四穴を通して簡単に綴じたものが多いのですが、「古今伝覚書」は四つ目綴じという和本仕立てで製本されています。中身は妻有地方で起きた様々な事件のようなことを沢山書き取った奇談・異聞録です。筆者は不詳ですが、谷内村(現、津南町)のことを「当村」と書いた所があるので、恐らく谷内村に住んでいた人が書いたのでしょう。表紙にやや筆致の異なる字で「滝沢氏」と書いてあります。この人物が筆者でないとすれば、この古文書が広瀬家文書に入る前の保管者か所有者かも知れません。ちなみに、古文書が転々と持ち主を変えながら現在に至ることはよくあり、伝来の経緯も古文書学の研究課題の一つになっています。文中に浅間山の噴火のことがあるので、江戸時代もだいたい後の方になつて書かれたと思われます。

さて、大雪の記事は延宝八年と宝永五年の二度に亘るものが載っています。延宝八年の記事を見てみましょう。

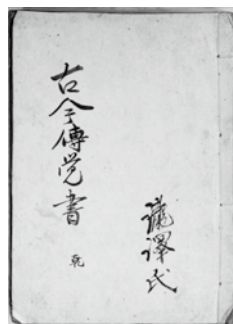
延宝八年は先年にも聞いたことのない大雪が降った。特に霜月二十六日(現在の暦で一六八一年

一月一日)には赤雪が降った。総じて窓の口々を掘り払う者は居らず、家の口々はみな雪室で通用した。そのため家のぐし(屋根の棟のこと)は大小によらず雪の中にあり、全く見えなくなった。寺社方は、寺で八掘り、九掘り、十掘りもしたが、在家は幾掘りとも限りなく。昼夜断絶なく降るので日々人足に出て掘つても掘り払うことは出来なかった。山方の家数の少ない村は雪に振り込められ、漸う家の口を掘りのけて家内の者の命を助け出す族が数多あった。翌酉年の春は大根にう・刈り干しにう(木切れなど物を積み上げたものを「にう」と呼ぶらしいです)も(雪の)下になり、雪は場所よつて六尋七尋余りもあり、赤雪は真ん中あたりに島(縞)筋のように見え、幅一寸七、八分ほど、雪の降り際まで慥かに見えた。春土用の内にも雪が消え切らず、田畑の仕付けが遅れた。(後略)

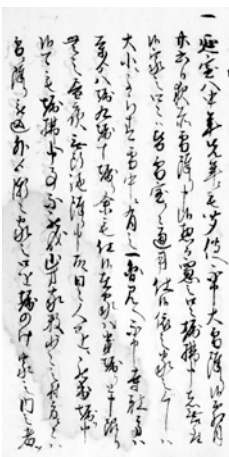
この後は翌年の畑作の具合や彗星の出現などが続きます。冒頭に「赤雪が降った」とあります。寒冷地に生える赤い色の藻類(雪上藻)で表面が赤くなるものをいうか、黄砂などが混じつて色付いた雪のことらしいですが、赤雪は古代以来たびたび記録されており、江戸時代にも時々降ったようで、珍しいが特別怪異とも思われなかったようです。文中の

「尋」は長さの単位で、だいたい六尺(一・八メートル)位です。一〇メートルを越す雪はおそらく吹きだまりか落雪が重なったものでしょう。それでも相当な降雪が窺えます。

延宝八年の豪雪は、「古今伝覚書」には宝永五年(一七〇八)よりもよほどの大雪だったと書いてあります。宝永五年の豪雪は各地に記録が伝わっていますが、延宝八年の豪雪は記録が少ないうえ、栄村でも今のところ延宝期の大雪を示す古文書は確認できていません。本書の記述が事実とすればかなり貴重な記録でしょう。今後村内の古文書から記録が見付かる可能性もありますし、それは貴重な発見になると思います。今年も何か新しい発見のある年にしたいものです。



「古今伝覚書」表紙



延宝八年大雪の記事冒頭



栄村公民館

図書室だより



..... 2025.1

あけましておめでとうございます。今年は巳年ですね。2025年は「乙巳（きのとみ）」の年で、これまでの努力や準備が実を結び始める時期となる可能性が高いと言われているそうですよ。

新着図書を紹介

常識やぶりのアイデアおやつ「材料4つまで」の100レシピ（syun cooking）

架空犯（東野圭吾）／作家刑事毒島の暴言（中山七里）

いなくななくななくならないで（向坂くじら）／こぼれ落ちる欠片のために（本田孝好）

少女マクベス（降田天）／パンどろぼうvsにせパンどろぼう（柴田ケイコ）

移動図書の車が変わりました！

ミントグリーンの車に『移動図書』のマグネットが貼ってあります。たくさん本を積んでみなさんの集落にお邪魔するので、栄村ならではの『読書の冬』をお楽しみください。



★栄村図書室開放時間★

平 日 午前8時半～午後5時

土・日 午前9時～正午

※祝日は休館します

★休館日のお知らせ★

1月11日(土)～13日(月・祝)

2月11日(火・祝)、22日(土)～24日(月・祝)

しめ縄作り教室 開催しました！

12月15日(日)に栄村公民館にてしめ縄作り教室を行いました。

関澤義人さん（笹原）と安田深雪さん（伝統文化支援員）を講師に招き、13名の参加者で一生懸命作りました。全員で藁をすぐるところから始まり、藁を叩いて柔らかくしてからしめ縄作りです。難しく感じた方や、いろんな締め方があって面白く感じた方、手作りのしめ縄で新年を迎えるのが楽しみなど、参加者からたくさんの感想を頂くことができました。今年も楽しい公民館講座を開催したいと思います。大勢の参加をお待ちしています！





ふくはらひろむ
福原弥夢さん（小赤沢・津南中等5年生）

今年も下半期に突入し、受験を意識するような時期となりました。しかしながら、まだ自分の将来に関しては明確に決まっていません。なので、自分が関心の持てることや物を見つけていきたいです。

また、私は現在陸上部に所属しており、混成競技をメインとして練習をしています。部活動、勉強共に結果を出せるようこれからも日々努力していきたいと思います。

村民広場

おおきな～れ



木登り名人と

おいしいごはん屋さんになりたい!

越智みのりさん（5歳）

ごはん屋さんはグランメゾンか大衆食堂にしようか迷っていました(笑)。このままいろいろなことを経験しながら自分で良いと思う方を選んでいけるようになってほしいと思います。

越智勇氣さん・朋子さん（長瀬）

ようこそ! 栄村へ!!



たつや ありさ
鈴木達也さん・亜里沙さん
いちお さくや みお
吉桜さん・桜也さん・美桜さん
きお りお
葵桜さん・里桜さん

Q 栄村に来て約半年が経ちますが、生活はどうですか。

A 地域の方々と親しく接する機会が多く、家族そろって集落の行事に参加して楽しい生活を送っています。ご近所からとてもおいしいお野菜を頂いたりすることもある、地元の方々には感謝でいっぱいです。6月から栄村に住んで、畑を耕してナスやサツマイモを作って少し自給自足のような生活ができてとても楽しいです。

Q 栄村の魅力といえば!!

A 自然豊かなところだと思います。栄村に来て、自由を感じて楽しいですし、夜になるといろんな動物が出現して驚きました。とにかく自然を感じる豊かで良いところだと思います。これからどんどん雪が降ってくると思うので、子どもたちとたくさん雪遊びをしたいと思っています。

令和6年1月号のスポットで取り上げました「極野の菊」は晩秋の頃、それは見事に美しく咲きほこっていました。

花のひとつひとつに強い生命力を感じずにはいられない、凛とした輝きを見て思わず、「ありがとうございます」と声が出ました。そしてこの菊をまた育ててくださったことに改めて敬意を表します。

栄村の34集落ひとつひとつにそれぞれの旨味があり、それを醸し出しているの言うまでもない村民ひとりひとりの存在（命）です。令和7年もみなさまの命が輝く人輝（にんき）スポット取材させていただきたいと思います。「小さなことから大きなことまで♪」集落の話題をぜひ栄村公民館までお知らせください。甘い、酸っぱい、時にしょっぱい出来事を分かち合い、村の暮らしを豊かに楽しんでいきましょう。本年もどうぞよろしく願いいたします。



第46回全国公民館研究集会

11月7日(木)から8日(金)にかけて、新潟県上越市文化会館にて開催された、第46回全国公民館研究集会及び第64回関東甲信越静公民館研究大会に参加しました。

「公民館のチカラ ～未来につなぐ、未来をつくる公民館～」をテーマに1日目は基調講演やトークセッションを行い、2日目には5つの分科会に分かれて全国市町村の事例発表を聞きました。

この大会を通して印象的だったのは、将来公民館をどのように作り上げるかを大会参加者でトークセッションしたところです。その中で「公民館てなに？と言われない公民館」についてお聞きしたのが心に残りました。栄村公民館でも、いつでもだれでも利活用できる環境を創って、たくさんの住民が集えるようにしていきたいと思います。



みみだんご作り講座 開催します！

日時 2月11日（火・祝）
午前9時30分から

場所 栄村公民館 こらっせ

詳細については、後日お知らせいたします。
皆さんで栄村の伝統郷土食を作ってみませんか？
たくさんのご参加お待ちしております！

今月の一句 ～栄村俳句会～

雪の朝杖の指図に娘はおこり
冬晴れ間朴の落葉を踏みてみる

山田 せき

湯の帰り回り道して熊の糞
隣家に若き移住者冬温くし

関谷 貞子

小春日や風波白き能登の海
幸の光を世界に初御空

柳 静江

寒い日にちゃんちゃんこ着て夜過ごす
一両の列車から見ると冬景色

杉浦 仁

千曲辺を彩る紅葉雨に冴え
初春や五つに増えし雑煮椀

杉浦 恵子

編集後記

昨年の秋はあたたかい時期が長かったように思いますが、十二月に入ってから栄村らしい冬が一気に到来しましたね。この冬挑戦してみたいことは、「手作りこんにやく」です。畑でこんにやくを作っているのですが、なかなか自分でこんにやくを作るまでに至らず…。一度公民館講座に参加して作ったことはあるのですが、道具を揃えて家で作ってみたいのです。手作りこんにやくは、スーパースーパーのものどちがつて本当に美味しいですね。私は定番ですが、わさび醤油をつけて食べるのが好きです。おすすめの食べ方があればぜひ教えてください。

寒い日々が続きますので、風邪などひかないよう温かくしてお過ごしください。2025年が皆さんにとって幸多い一年になりますように！

俳句の会への参加や俳句の投稿募集しています！
ご興味がある方は栄村公民館（☎87-3118）までお電話ください。